

竹
田

広報

9

2015 No.126

Taketa Public Relations

田

過ぎゆく夏の残響



竹田で夢を叶えるために 奮闘する「地域おこし協力隊」

竹田市には現在、総勢 29 名の「地域おこし協力隊」のみなさんが居住し、地域活性化に熱い意欲を持って活動しています。今月号は、竹田城下町に土産品店、久住高原に吹きガラス工房をオープンし、自立という「夢」に向かって、奮闘する協力隊員をご紹介します。

7月28日、竹田市地域おこし協力隊の井上愛仁さん（35歳・神奈川県横浜出身）と、松井知恵美さん（33歳・群馬県みどり市出身）が久住さやか施設



久住高原に「ガラス工房」をオープンした

井上 愛仁さん
Naruhito Inoue
松井知恵美さん
Chiemi Matsui

内（久住町久住3987）に、吹きガラス工房「Magma Glass Studio（マグマグラススタジオ）」をオープンしました。

ガラスクリエーターでもある井上さんと松井さんがこの工房で制作したガラス作品を通じて、自然豊かな竹田の魅力を国内外に伝えていきます。

また、若手作家やアシスタントとして働く方々等と、制作場所を共有することで多才な人材が集まり、交流の輪を広げてい

く「文化芸術」の拠点となることを目的としています。



↑熱い中の作業が多いので、「涼しい久住高原は快適」

地域の方と一緒に

井上さんは、20歳の時のひとり旅をきっかけにガラスの魅力に心を奪われ、海外や富山ガラス研究所で「ガラス」を学びます。高橋積彦ガラススタジオ等のアシスタントを経て2011年に独立し、出身地の横浜で「Naruhito Glass」を設立。その



マグマグラススタジオ
Open 10:00~17:00 定休日は火曜日。
熱いガラスを吹きながらコップや一輪
ざしをつくる「吹きガラス」や、ガラ
スに砂を吹きかけてお好みのイラスト
を彫る「サンドブラスト」等が体験で
きます。☎76-1878

TAKETA ART CULTURE 2015 今年のテーマ「暮らし」「衣食住」

会期：9月12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日)・
21日(月・祝)・22日(火・振休)・23
日(水・祝)・26日(土)・27日(日)・10月
3日(土)【全10日間】11:00-17:00

会場：竹田市城下町一帯（15か所程度：既存店舗とのコラボレーション）

プログラム：アート・クラフト（作品展示、滞在制作、制作公開）／上演／食／ワークショップ

ゲストアーティスト：木村崇人（現代美術家／滞在制作・展示）、中村好文（建築家／講演会）

●お問い合わせ 竹田アートカルチャー実行委員会
☎080-3966-6208（児玉）
URL：www.taketaartculture.com

後「子育て」「作品づくり」を自然の中でしようと、全国各地を探し、大分県竹田市の地に辿りつきました。

「素晴らしい自然に囲まれたお陰で、自分自身の感性がシンブルになった。無理をしなくていい。欲が減って、素材との対話できる。外（都市）で発表して、内（田舎）に帰ってくる。繰り返すことで、この

の良さを知るので、地元のみなさんに教えてもらいながら一緒にあって、地域を盛りあげていきたい」

松井さんは多摩美術大学を卒業後、

富山ガラス造形研究所でガラスを学びます。その後、大阪でステンンドグラスの勉強をして、ウエディング関係の仕事に就職。後に、富山ガラス研究所同期生の井上さんから声がかかり、ガラス工芸の現場に復帰し、現在に至ります。

「お客様がいつまでも竹田を思い出していただけるような、特別な時間をご提供できるように頑張っていきたい。また、自分のガラス工芸を模索しながら、この土地にあるものを活かして作品づくりができればいいなと思っています」。

竹田で生まれた夢は、始まっただけです。

9

月号



目次 TAKETA Public Relations

- 竹田で夢を叶えるために 奮闘する「地域おこし協力隊」…………… 2
- いよいよ取りこわしがはじまる「文化会館」～新文化会館の「基本設計」修正案を報告～ ……………4
- 平和への誓い・竹田／戦後70年記念講演会「戦後70年を迎えてー「国際化の中の日本」ー ……………6
- TOPインタビュー市長に聞く⑤…………… 8
- 大蘇ダム／高齢者叙勲……………11
- まちの話題……………12
- 【農業】新技術習得チャレンジ事業／「とまと学校」農業研修生募集ほか……………14
- たけたん情報 竹田のこよみ9月／休日当番医情報／えがおの子育て 小児科ほか……………15
- 竹田市職員採用試験のご案内／人権シリーズ「ぬくもり」……23
- ぼくたち・私たちの学び舎／まると博物館／図書館に行こう……………24
- 市長コラム「有由有縁」……………26
- 事業主に「健康経営」のススメ「健康寿命を伸ばせ」……………27
- 郷土の植物／すくすく1歳／誕生おめでとう……………28

人口のうごき

(前月比)

人 口 23,447 人 (－34人)
 男 性 10,929 人 (－13人)
 女 性 12,518 人 (－21人)
 世帯数 10,524 世帯 (－8世帯)
 住民基本台帳登録人数
 (平成27年8月1日現在)



michi

Open: 土日祝日 10:00～18:00
 竹田市大字竹田 1995 番地2
 ※詳細はFBを検索してください

竹田城下町に「土産店」をオープンした

宮崎 透 さん
 Toru Miyazaki

人のために、役立ちたい

6月上旬、地域おこし協力隊2年目の宮崎透さん(25歳)が市内に移住してきた作家やデザイナーたちの作品を商品として取り扱う土産店「michi」を竹田城下町にオープンしました。

大分市出身。京都の大学を卒業後、昨年度から本市の「協力隊」を務め、毎月発行される「地域おこし協力隊新聞」の編集長としても活躍中です。

昨年は主に「地域振興」の職務に従事してきました。今年度は主に「地域貢献をしよう」と考えた宮崎さんは、観光客の「モノを売っている土産店が少ない」、移住者の「お客様の反応が聞きたい」、地元住民の「移住してきた作家たちの作品を(ネット以外で)直接買えるところがある」

ない」というニーズに応え、空き店舗を私費で改装したのです。

この「michi」は多くの「人の思いをつなぎ、新たな交流を生む拠点として、訪れたお客に商品の説明や作家の思いを伝え、また観光名所等もPRする等、城下町から「竹田」の魅力を発信します。今後は、地元出身者の作品も仕入れる等、新しい企画を始める予定です。

「竹田に来て、人の温かさをあらためて感じています。一生懸命にやっている人を輝かせてあげられるような仕事をこれからも続けたいですね」

店名の「michi」は、『道』すら、「未知」なる出逢いを、心「満ち」るひとときを』という思い込めて、名付けられたもの。宮崎さんの歩む「みち」は、まだまだ続きます。

頑張ります!

地域おこし協力隊

9月1日に着任した地域おこし協力隊員をご紹介します。
 (①住所地 ②勤務先 ③抱負)

①福岡県大野城市 ②企画情報課
 ③ムービーを撮るのもパソコンで編集するのも大好き。山好きが高じて、くじゅう連山で映画を撮る究極の趣味を楽しんでいたら、竹田市と縁ができました。文化と歴史が薫り、自然がいっぱいの竹田市。素敵な素材がいっぱい転がっています。1年後、私は来るべくして竹田市にきたのだ……と言えるように頑張ります。



おとう けんじ
尾登 憲治 さん (65歳)



②

ありがとう。
さようなら。

①



③



⑥



⑤



④



⑨



⑧



⑦

【写真説明】①昭和51年7月オープン「竹田文化会館」(当時) ②大分県民芸術文化大賞を受賞した「瀧廉太郎没後100年記念・瀧廉太郎作品全曲演奏会」(平成15年) ③瀧廉太郎記念日本高等学校声楽コンクール。若き声楽家たちの聖地 ④文化連盟芸能祭 ⑤思い出の成人式 ⑥藤井凡大先生が指揮した九大男声合唱団 ⑦度重なる集中豪雨に襲われた ⑧田能村竹田150年祭 ⑨超満員で賑わうチャリティショー

文化会館

いよいよ取りこわしが始まる

また、本市の名誉市民・彫刻家の朝倉文夫作のブロンズ像「生

8月23日、「竹田市文化会館・中央公民館お別れ式」が行われました。文化会館関係者、地元

竹田市文化の中枢として役割を持つ「竹田文化会館」が昭和51年(1976)7月2日にオープンしました。設計は竹田に縁故があり、東大卒業後は吉村設計事務所に勤めていた新進気鋭の建築家・福井健二氏(中津市出身)。背景にある山の稜線に倣うように、考案されたのが現在の文化会館の姿でした。

この会館は昭和49年に着工し、3か年継続事業で建設され、鉄骨コンクリート4階建て、延べ床面積2987.2平方メートル。総工費は(当時の価格で)5億4325万円。会館の構造は1・2階の約1千人の収容の(当時は「瀧廉太郎記念ホール」と呼ばれていた)大ホールで、大中小の会議室や結婚式場等もありました。緞帳は田能村竹田の「暗香疎影図」で格調の高いものでした。

市民ら約1000人が出席。工事関係者により文化会館の看板が取り外され、施工業者代表から首藤市長に手渡されました。「青年団の手で結婚式や節句が行われたり、思い出が多いのでさみしい」「芸能祭の発表等お世話になりました」...

「誕」が玄関前、「三相」がホールのロビーに設置されていました。オープン初日、こけら落としとして、NHK番組「上方演芸会」の収録。翌日には、落成記念市民芸能大会が開催されるなど、大いに賑わったと記録が残されています。

以来、約40年間の長きにわたり、市民の生活文化の向上を図り、市民が気軽に利用できる施設として、まちの発展に貢献してきた施設です。



↑お別れ式で、コンクール出身の声楽家・山口優里菜さんをはじめ、文化会館をこよなく愛した市民のみなさんが「荒城の月」を合唱

最後に「荒城の月」を合唱し、現文化会館に別れを告げました。工事期間中は車の乗り入れや立ち入りができません。市民の皆様には、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。工期は平成28年2月24日まで。

新文化会館の「基本設計」修正案を報告

第2回文化会館を考える市民フォーラム開催

7月29日、「第2回文化会館を考える市民フォーラム」が竹田市総合社会福祉センターで行われ、市民約80名が参加しました。

冒頭で首藤市長は「文化会館財源計画」について説明。文化会館の総事業費にかかる23億円は、社会資本整備総合交付金や地方債などを充当し、市の一般財源からは約4億円の持ち出しで済むことを述べました。

続いて、設計者の有限会社香山寿夫建築研究所は、これまでにいただいた意見・要望等を含めた「基本設計」案を報告しました。

主な内容は次のとおりです。

- 大ホール（鉄骨造1階約500席・2階約240席程度。音



↑充実した質疑が行われた「第2回文化会館を考える市民フォーラム」

楽、合唱、演劇等にも対応できるように想定)

- 小ホール（鉄骨造約200席、手作業による客席の設置方式から可動式客席に変更）
- エントランスホール（ギャラリー・カフェパントリーほか）
- 木造施設（楽屋・練習室・通路・会議室・ラウンジほか、多目的に活用できるスペースとして整備）
- 調理・給湯室と架設の調理器具設置スペースを追加
- 体育センターはリハーサルや各種展示会場としても利用でき、文化会館と一体として活用

そして、新文化会館に夢を託して

今回の市民フォーラムの主な質疑応答をご紹介します

Q（会場の質問者） 基礎の高さが1・2階となっているが、大丈夫ですか？（水害対策）

A（回答・香山研） 1・2階の根拠は、搬入口にトラックを乗り付ける高さから導いていきます。浸水の心配に対しましては、全体的に建物の開口部を極力少なく設計しています。開口部もドアを水密性のあるものにするなどの工夫を考えています。

Q 会議室と楽屋兼用の部屋のほかにどのような部屋の利用計画がありますか？ 旧公民館はいろいろな部屋があったように思う。

A 公民館によくある部屋として「〇〇室」などと用途別の名称を付けた部屋があります。確かに用途別の部屋数があればよいのですが、今回は、限られた予算でもありますので、多用途に対応できる部屋を想定しています。

Q ホール客席天井は、音響面からかなりの高さをとっているようだが、空調の面を考えるとコストがかかるように思うが、ランニングコスト的には大丈夫ですか？

A ランニングコストを削減することは公共施設建設で必須の課題です。今回の設計では、客席に循環式の空調システムを考えており、コスト削減を図ります。

Q 施設内の通路が狭いように感じる。高齢者等に対しては大丈夫ですか？

A 幅3・6メートルをとっていますので、安全だと判断していますが、今後人の流れを想定しながら細部を設定していくこととします。



↑新文化会館の構想模型（現時点）

「感動と活力を生む 学びと創造の交流拠点」 文化会館を考える市民フォーラム

（第3回市民説明会）

新文化会館の基本設計についてお知らせします。

日時 9月29日（火）午後6時30分

場所 竹田市総合社会福祉センター多目的ホール

内容 新文化会館の「基本設計」案についての報告と

意見交換会を行います。

◎竹田市教育委員会生涯学習課 ☎63-4817



【写真説明】 ①完成した「阿南惟幾像」の前にて。写真左から、土居昌弘
県議、首藤市長、阿南惟茂氏、阿南惟正氏、広瀬勝貞県知事、衛藤征士郎
衆議院議員、甲斐正章実行委員長、坂梨宏之進市議会議長、製作者・原田
裕明氏 ②阿南惟幾大將 ③阿南惟幾像 ④竹田にゆかりのある曲を演奏
する「陸上自衛隊第4師団音楽隊」のミニコンサート ⑤「献吟」を捧げ
る淡窓伝光霊流日本詩道会のみなさん

「阿南惟幾像」から学ぶ 戦後70年 平和の誓い新たに

8月22日、終戦時の最後の陸軍大臣・阿南惟幾大將（竹田市出身）の胸像が完成し、除幕式及び
記念式典が廣瀬神社で行われました。阿南惟幾大將胸像建立実行委員会が「人間性」「不戦の誓い」「平
和への誓い」を後世に伝えようと建立したもので、認識を新たにする歴史的一日となりました。

式典会場には、阿南家から三男・惟正さん（東京都）、五男・惟茂さん（東京都）ほか、ご遺族6人が駆けつけてくださいました。

市民をはじめ、自衛隊関係者など約200人が出席。神事のあと、関係者による除幕が行われ、大きな拍手が送られました。

陸相時代をモデルにした像は、高さは（台座を含めて）約2・1メートル。製作者は日展会員の原田裕明大分県立芸術文化短期大学美術科教授の手によるもので、ご多忙の中、この半年間全身全霊をかけて製作に打ち込まれました。胸像に添えられた「阿南惟幾像」の文字は、三男・惟



↑謝辞の中で「平和」について述べる阿南惟正氏

正さんの揮毫によるものです。

また、今回の胸像建立は今年6月に急逝された中津市にある梶原病院の故・梶原直理理事長（享年87歳）が阿南惟幾大將顕彰会にご寄附をされたことに端を発し、全国から多くの浄財が寄せられ、設置の運びとなったものです。

終戦から70年が経過し、戦争を知らない世代が人口の4分の3を越える世の中となった今、戦争の記憶を持つ人々は少数となり、その悲慘さや平和の尊さを次の世代に伝えていくことは非常に難しく、これまで以上に重要なことになっています。

昭和20年8月15日未明、陸軍大臣阿南惟幾大將は、「一死を以って大罪を謝し奉る」の遺書を残し自決されました。

昭和34年に開催された「阿南陸相を偲ぶ集い」で鈴木内閣の国務大臣であった安井藤治氏が言及された阿南大將の終戦に対する3つの根本理念とは、①「終戦の実現」、②「国体の護持と皇室の安泰」、③「内乱・暴動の防止」です。結果として、これら阿南大將の思いはあまねく達成され、今日の我が国の繁栄があることは今さら申し述べる

戦後70年記念講演会開催

戦後70年を迎えて「国際化の中の日本」

8月22日、竹田市・阿南惟幾大將顕彰会主催「戦後70年記念講演会」が竹田市総合社会福祉センターで行われました。



↑熱心に耳を傾ける参加者のみなさん

必要はないでしょう。

さて、阿南大將の故郷である竹田市では昭和40年8月に、自衛隊協力会の主催により『阿南大將を偲ぶ会』が執り行われ、田島敏行元竹田市長をはじめとして、市内外からのご協力者を得る中で、ここ廣瀬神社境内に岸信介氏の揮毫による『阿南惟幾大將顕彰碑』が建立されました。

さらに、平成6年7月には市民有志の呼びかけにより阿南惟幾顕彰会が創設。翌平成7年に廣瀬神社に合祀されることとなった。

講師には元中国特命全權大使の阿南惟茂氏を迎え、「戦後70年を迎えて―国際化の中の日本―」をテーマに講じていただきました。

阿南先生は、戦後70年の世界情勢を振り返り、「私たちは歴史の経緯をふまえて、自らの立ち位置を定めることが大事である」と語りかけました。日々、日本を取り巻く国際情勢は変化をしています。

会場に訪れた参加者にとっ

忘れないで。今日の「平和と繁栄」は、尊い生命の犠牲の上にある

り、50年忌祭が執り行われました。

戦後70年、阿南大將の70年忌を迎えた本年、胸像の建立と周辺の環境整備が実現しました。

*

阿南惟正さんは式典の挨拶の中で、「父・惟幾」「戦後の平和」について、次のように述べました（一部をご紹介します）。

「父惟幾は、最後に陸軍大臣と云う重責を負いましたが、そ



↑講演をする阿南惟茂氏

もそも軍人として生きること通信条として、政治には進んで関与しませんでした。生涯剣道や弓道に励む一方、若い人々の教育には熱心で、いくつかの言葉を残しています。その例をあげれば、

- ・若きは力なり
- ・勇怯の差は小なり されど責任観念の差は大なり
- ・智謀の差は小なり されど実行力の差は大なり
- ・己れに厳 人に寛 身を以て衆をひきゆべし
- ・徳義は戦力なり 等々

そして、自らその精神で事にあたつて来たと思います。

家庭にあつては子煩悩で優しい父親でありました。
なお、この機会に一言つけ加えて、皆様に御礼申し上げたい事があります。

戦争は終わり、東京が大変な食料難に陥った時、母綾子は、私以下4人の子どもを連れて、郷里の玉来に移り住みました。郷里の方々の温かいご支援の中で、妹や弟2人は南部中学校、玉来小学校で学び、私は竹田高校を卒業致しました。後にも、この時代を懐かしんでいた亡き

母も、この度の胸像建立に関しては、さぞ喜び感謝している事と思います。あらためて、当時から賜りました郷里の皆様方のご厚情に対し、この席を借りて、深く感謝申し上げる次第です。

本年は終戦から70年。日本は焦土の中から復興し、再建し、成長し、今日の平和と繁栄を勝ち得ました。

これは国民全体の努力によるものですが、同時に、先の大戦で祖国のために、尊い生命を捧げた多くの方の犠牲の上に築かれたものです」

*

「戦争の悲惨さ・愚かさ」だけではなく、「戦争を終わらせることの難しさ」を戦争を知らない世代に教えてくれた阿南大將の想いを大切にし、この先50年、100年…と戦争のない時代を過ごすことができるよう、「不戦の誓い」を引き継いでいかなければなりません。かけがえのない平和と、故郷竹田の豊かな未来のために。

竹田市独自の「政策」を展開

すべては未来への財産づくり

地方創生が唱えられる前から、竹田市は独自の政策展開を行ってきた。高齢化社会への対応、特に高齢者福祉の充実はもちろん、教育の充実、地場産業の振興などである。今回は新たな政策展開に寄せる市長の構想についてお聞きした。(インタビューは企画情報課の西山泰輝)

「全国区の政策に取り組む頼もしい行政に

西山 今日は宜しくお願ひします。いま地方創生が叫ばれる中で、竹田市は農村回帰をはじめ、温泉療養の保健制度など独創的な政策が注目を集めています。私の所属する企画情報課や議会事務局、そして観光課などには全国から相当な視察研修団が訪れています。

市長 そうですね。たまに私も対応しますが、大学や一流企業などで組織化されているシンクタンクも研修地に竹田市を指名してくれる機会が多くなったようですね。全国の人たちが竹田市の情報を得て、それを「竹田市にはこんな先進事例がある」と宣伝してくれるので、さらに多くの人たちが訪れるようになる。

そんなサイクルが生まれていますが、担当課の対応も大変でしょう。

西山 そうですね。農村回帰運動がテレビで全国放映されて後藤雅人君などは全国的に知名度が高いですからねえ。

市長 マスクもいいし、しゃべりもうまいのでスター級ですね。いいことです。

西山 池永課長も大忙しで嬉しい悲鳴をあげています。ただ視察を受け入れるのではノウハウを盗まれるだけでメリットがありませんから、課長は必ず注文をつけていますよ。「視察を受け入れますから宿泊地は竹田市にしてください」。

できなければ、せめて昼食だけでも竹田市で」という具合です(笑)。

市長 いや、立派です。行政の経営力というやつですね。(笑) それでも、パフォーマンスだけだなんて言われないように、実績もあがっているんですよ。

西山 それはもう(笑)。たとえば、農村回帰運動が始まってからこれまでの移住者は113世帯で221人ですから。特に作家たちの移住に拍車がかかっています。

市長 そうですね。



↑市長に新たな政策展開を訊く西山泰輝(企画情報課)

西山 最初は竹藝家の中臣一さんの誘致。その次が染色家の辻岡快さん、竹工芸の桐山浩実さん、さらに和紙漉きの小野加代さん、最近ではガラス工芸の井上愛仁さんらも工房を開設しましたから。市長は就任してすぐに農村回帰宣言市を標榜しましたし、同時に城下町再生も唱えましたよね。この着想はどんな背景からですか。

市長 単なる思い付きと思っていまsekんか(笑)。

西山 いや、そんなことはありませんが、先が見えているような政策ばかりですよね。

市長 お褒めいただいたのでしようか(笑)。実は、選挙などで各地域を隈なく

「地域と人」、「人と人」の出会いをつくるまち

「ワクワク感のあるまちに若者は集まる」

歩くことを重ねると地域のもっている可能性の高さを知ることができます。そこが最初。次にトップ懇談会などで、これまた各地域の人たちと対話を重ねると課題や期待を知ることにもなります。ただ、これだけでは先導的な発想は生まれなと思います。大切なのは、全国的な視野、世界に通じる個性かどうかを見極めることですし、やはり多くの人たちとの出会いが何よりの力になります。そこから、ひとつの企画を次々に掛け算していく発想が生まれるんだと確信しています。

西山 なるほど。城下町再生という話



↑長湯温泉・炭酸泉を世界へ！本市に進出した株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット

の中で、市長は農村回帰で移住・定住してきた人材を城下町の空き家や空き店舗に活動の場をあてはめるといようなことを実践していますよね。

市長 そこには歴史的な背景があります。城下町の魅力は参勤交代にあるというのには理解していますよね。

西山 はい。教えていただきました。参勤交代する中で、殿様は全国から『欲しいもの』を集めて集積させたからだ。

市長 そのとおりです。参勤交代というのは、意外と頻繁で2年に1回なんです。2年に1回は異国を練り歩くのですから、欲しいものが見えますよね。この船大工は腕がいいとか、この和菓子はおいしいとか、このまちの絵師はレベルが高いとか。

西山 そういう他国の宝物を自分の城下に持ち帰ったというわけですね。

市長 そうです。昔は殿様のわがままで誘致できたのかもしれませんが、いまは政策でそれをやろうと。これからこの政策は力をもつことになると思いますよ。

西山 どうしてですか。

市長 それは、人の磁場が生まれているからです。中臣さんを例に挙げてみてもそうですが、彼の魅力で工芸家たちが竹田市を目指しているでしょ。竹田市が総務省の制度を利用して全国的な成功事例となっている『地域おこし協力隊』の隊員たちの気持ちもそうした環境があったからにはありませんし。

西山 確かに。それに集落支援員の皆さんの協力もすごいですよね。また、草刈さんやUターンした桑島君や居酒屋甲子園で初出場、初優勝した『陽はまた昇る』の氏田社長ら若手の活躍も大きな吸引力になっていますよね。

市長 竹田市に移住しようとする大きな原動力になっていますね。

西山 先日、東京から地域活性化センターの椎川理事長をお招きして、より移住・定住を促進させるまちづくりへの取り組みをスタートさせました。活性化センターからの補助金で取り組んでいくのですか。

市長 関連事業はすべてセンターからの

全額補助ですよ。良く獲得できたものです。

西山 この会議の折に、市長も椎川理事長も同じことを言っておられたですね。外から移住してくる人たちの一番の物差しは、「ワクワク感のあるまちかどうか」にある。つまり、人生の舞台として可能性を感じらせてくれる予感がするまちかどうかだと。これから先、次のステップをお考えですか。

市長 すでに見えてきたことがありますね。まず、政策を進化させること。たとえば、高齢者福祉の充実のためには『さわやか福祉財団』との協働により、竹田方式の社会のしくみづくりを作り上げる。農村回帰も人から企業へとターゲットを広げる。すでにIT企業の進出も続きそうですし。そして、城下町再生も景観整備から就業の場づくりへの挑戦や、産学官連携の政策も視野に入ってきました。つまり、自分の人生舞台に竹田市を選択してもらえるような、環境整備、条件づくりを進めます。

西山 政策のネーミングは決まっていますか。

「竹田なら活躍できそうだな予感がする」

市長 はい。ブランド化させるためには、わかりやすいのが一番。『クリエイティブ・シティー竹田』構想というのはどうでしょう。

西山 何かができそうだが、何かをやってみたいと思わせるようなまちづくりというのでしょうか。

市長 さすが企画部門で鍛われただけのことはあるね（笑）。これは、イギリスで実践事例があるようだけれど、竹田というまちは、何かがある。自分の人生を賭ける場所としてのワクワク感に満ちているということをアピールするということです。政策として、ね。

西山 なるほど。その核になる力は何でしょうか。

市長 人です。いまを竹田市で生きている人たちの魅力、過去にこのまちに生きた先人たち、そしてこれから移住したり、これから生まれてくる人のことも含まれていますし、全国・世界から竹田市の魅力づくりの発見や支援をしてくれる人たちのことも。つまり、『竹田ヒューマン・プロジェクト』というのがそれです。

西山 まずは、いま竹田市を演出したり、竹田市を盛り上げてくれる人たちの集団

を形にすることですね。

市長 そうです。農村回帰と城下町再生を次のステージに押し上げていくプロジェクトというわけです。

西山 国の政策予算が取れそうですね（笑）。

市長 あなたたち若い職員は国の予算獲得がうまいから期待しています。



↑地域活性化センターアクションプラン策定委員会

平成27年度「移住・定住に関する推進体制整備支援事業」【一般財団法人 地域活性化センター】の採択を受け、今年度～3年目の事業実施に向け、各委員と貴重な意見交換が行われた。（7/31 市役所本庁）
挨拶を述べる地域活性化センター・椎川忍理事長（写真右端）、隣席は九州大学大学院教授・藤原蕙洋先生（右から2 番目）。

竹田ヒューマン・プロジェクト

「あの人」がいたから、ドラマが生まれた。



↑竹田城下町を舞台に、秋のアートイベントとして定着した「アートカルチャー」。実行委員会メンバーの作家たちの繋がりによって、毎年県外から豪華なメンバーが集い、イベントを盛り上げる。



竹田に移住した竹藝家の中臣一さん（写真上）、染色家の辻岡快さん。全国レベルの作家のみなさんに惹かれて、人は竹田に訪れる。



移住者の多く「担当者の対応で決めた」と語る。県内外からの研修や講師依頼、メディア取材が訪れた農村回帰推進室の「人間力」←

大蘇ダム「第3回計画変更」説明会

浸透抑制対策の推進へ！

平成24年9月の説明会で示した「浸透抑制対策工事」（126億円）を実施するため、8月3日、九州農政局は市内受益者を対象にした、国営大野川上流土地改良事業「第3回計画変更」に係る説明会を竹田市総合社会福祉センターで行いました。

事業費の変更は次のとおり。

①大蘇ダム貯水池の法面や池底への浸透を抑制する工事（浸透抑制対策工事）を追加することによる増

②大蘇ダム基礎の地盤改良の追加施工に伴う増

③フームポンドの工事計画の見直し（構造変更など）

に伴う増

④揚水機場統廃合に伴う減

①～④の要因により、総事業費は現計画580億円から720億円に変更（140.6億円増）となります。

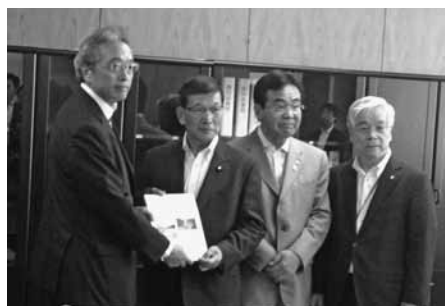
今後の計画については、10月に変更計画概要公告・縦覧、11月～12月に大臣の知事協議・知事の市町村協議、平成28年1月から6月にかけて現地説明会に出向き、受益者の皆さんに計画変更に必要な同意取得を求めます。

地元負担軽減のために！
「国直轄」を農水省に要望

水もれ対策の追加工事が進む「大蘇ダム」について、完成後は、基幹水利施設（大蘇ダム・平川頭首工・導水路）は大分県竹田市、熊本県阿蘇市、熊本県阿蘇産山村で維持管理をする計画です。

地元の負担軽減のため、7月27日、首藤市長ほか受益地の首長3名は農林水産省を訪れ、小泉昭男農林水産副大臣に基幹水利施設が完成後、国直轄で管理することを要望しました。小泉副大臣は「長い間で心配をおかけしている。この問題は関係自治体で解決できるレベルではない。国が責任をもって対処すべきだと思っている」と述べました。

追加工事は平成25年に始まり、平成31年度完成を予定しています。

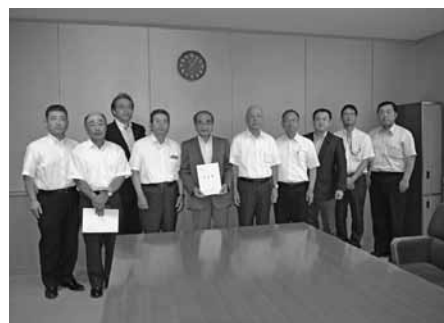


↑小泉昭男農林水産副大臣に要望書を手渡す首藤市長

土地改良区各代表と
県知事に要望

8月5日、首藤市長と受益地となる土地改良区各代表者は県庁を訪れ、国営大野川上流土地改良事業（大蘇ダム）で現在進められている「浸透抑制対策」や「国直轄の維持管理」について、広瀬知事に要望しました。

今後も1日も早い完成に向けて、要望活動等を行ってまいります。



↑「国直轄の維持管理」を要望しました

受章おめでとーいございます

高齢者叙勲

○瑞宝双光章

秋田 明さん（上角東・88歳）

元南部小学校校長。40年間の永きにわたり、児童の学力向上、健全な育成に尽力されました。

一番の思い出は教頭時代、国語研究会の西日本大会。約1200名が参加。会場の裏方に徹しながら運営等に関わり、大会を成功に導きました。

「光栄ある章をいただき、感激もひとしお。多年にわたって、私を取り巻く、先輩方や同僚に感謝申し上げる他にない」



↑秋田 明さん

○瑞宝双光章
衛藤壽児郎さん（山脇・88歳）

元直入中学校校長。40年間の永きにわたり、児童の学力向上、健全な育成に尽力されました。

思い出は、職業指導主事を務めたこと。就職難の時代。決まった時は共に喜び、決まらなかった



↑渡邊成喜さん



↑衛藤壽児郎さん

○瑞宝単光章

渡邊 成喜さん（倉木上・88歳）

元竹田市議会議員。3期12年の永きにわたり、市政の発展のために尽力されました。

特に竹田市議会産業経済常任委員会委員長として、当時無名だった「竹田かぼす」を市と農業関係者と連携しながら、販路拡大に貢献、現在の名声を得るに至りました。

「周囲のみなさんのお陰です。とても感謝しています」



↑家庭用炭酸入浴剤「長湯ホットタブ」の開発・販売します

長湯温泉の「炭酸泉」を共に世界に広めようと、8月7日、竹田市と株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレットとの間で、進出協定調印式が市直入支所大会議室で行われました。



世界に通じる「長湯温泉・炭酸泉」に!

株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレットと進出協定締結

会議長の立ち合いのもと、首藤勝次竹田市長と株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレットの小星重治社長が協定書に署名しました。

首藤市長は「炭酸泉の素晴らしい商品を商品化した会社と進出協定が結ばれたことを基軸にして、本市が目指している温泉療養保健制度の正式な確立の道を歩み続けてまいりたいと思っています。小星社長は「私どもの最大の目的は、人の幸せです。長湯ブランドという大きなチャンスを与えてくれたので、これから『人の健康』のために頑張っていきたい」と挨拶を述べました。



↑挨拶をする天満社代表役員の小河一博さん

8月6日、国指定史跡岡城跡（二の丸・三の丸）の公有化に向けて、竹田市と宗教法人天満社の間で引渡し調印式が市本庁舎で行われました。

二の丸・三の丸が公有化

これにより、二の丸・三の丸全体（4989平方メートル）の公有化が完了します。

首藤市長は「今後も環境整備をしつつ行いながら、岡城の魅力を多くの皆様に知っていただく努力を重ねて参りたいと思っています」と挨拶。また、天満社代表役員の小河一博さんは「隠れ信者が多い岡城本丸跡にある天満神社の土地をこれからも大事に、そして多くの皆様に役立ち、二の丸・三の丸に来てよかった」と言われるようにお願いしたいと思っています」と挨拶を述べました。



↑新たな名所へ！ 現時点の「便益施設」構想図

本市は、岡城にかつて風呂屋敷があったとされる二の丸跡に、岡城本丸跡への移動負担軽減のための緩やかな階段機能と、休憩室・トイレ設備を併せ持った「便益施設」を設置する計画を進めています。



↑入選した嘉月さん、白石さん、久保さん(写真左から)

市内から3名が「少年の主張」入賞

8月7日、「少年の主張大分県大会」が豊後大野市で開催され、市内から優秀賞に白石愛さん（緑ヶ丘中3年）の「いただきます」、優良賞に久保ひびきさん（直入中3年）の「元気の種」、嘉月理子さん（久住中3年）の「語り継ぐことで」が選ばれました。入選おめでとうございます!



←屋根改修と土の入れ替えて運動場がきれいに!

グラウンドゴルフで、歓声が響く!

荻福祉健康エリア屋内多目的運動場の屋根改修工事竣工を記念して、8月5日、「親睦グラウンドゴルフ大会」が開催されました。荻町グラウンドゴルフ協会員や夏休み中の子どもたちが参加し、グラウンドゴルフで親睦を深めていました。工事費用は約3,569万円です。



↑地元の食材を学んで食べよう!

食生活に関する正しい理解を深めてもらおうと、8月5日、竹田市学校給食研究会は、「夏休み親子料理教室」を直入保健福祉センターで開きました。直入小学校ほか、地域の児童及びその保護者約60名が参加。竹田市酪農組合女性部のみなさんによる牛乳に関する講話と、地元の食材を利用した、「トマトと手づくりモッツアレラチーズのピザ」や「レタスのスープ」などの調理実

夏休み、思い出いっぱいできたよ!

7月7日、友だちとふれあい、共に学びながら、豊かな感性を育んでもらおうと、「第32回子ども祭りinなおいり」が直入公民館・B&G直入海洋センター体育館で開催されました。直入地域を中心とした、市内の子どもたち104人が参加。午前中は各会場で「工作教室」や「陶芸教室」、「七島いづくり教室」などが開かれ、子どもたちはオリジナルの作品づくりに夢中になっていました。



↑かわいくできたよ!みてみて!



↑山に感謝!親子で登頂しました!

「山の日」制定を祝う親子登山

国民の祝日として、新たに「山の日」(8月11日)が制定されたことを記念し、8月11日、「山の日」制定記念祭 in 大分・くじゅうが九重町長者原一帯で開催され、様々なイベントが行われました。

親子で山に親しんでもらおうと、本市は登山バスを利用した「親子登山教室」を開きました。直入小学校から親子7組(15名)が参加し、大船山登山を楽しみました。



↑今後も活躍が期待される中村選手と工藤選手

中学生ランナーが「九州大会」出場

中学県体が開催され、直入中学校3年の中村朱里選手は3年女子800m、竹田南部中学校2年の工藤雅文選手が中学県体2年男子1500m競技において上位に入賞しました。

その結果、8月9日・10日、沖縄県総合運動公園陸上競技場で開催された「平成27年度九州中学陸上競技大会」に出場しました。



↑「今後も設置したい」と顕彰会のみなさん

まちを情感あふれる南画館に
田能村竹田先生画碑を竹田城下町の街角に設置し、多くの市民や観光客等に画聖竹田を身近に感じ、親しみを持ってもらおうと、竹田先生画碑「まちかど南画館」の第六基「歳寒三友双鶴図」除幕式が豊後竹田駅前、「田能村竹田ブロンズ像」横で行われました。顕彰会や観光関係者、地元住民のみなさんが出席し、画碑の完成を祝いました。



↑顕彰会は「竹田先生180年祭記念和歌賛画譜」及び「別冊版」2冊を製作。セットで2,000円。
◎顕彰会事務局 ☎62-2529

第六の画碑に使用された「歳寒三友双鶴図」(天保2年「1831」重要文化財・大分県立美術館委託)。「歳寒三友」とは、寒い季節に友とすべき三つの植物という意で、「松・竹・梅」をいいますが、竹田は「竹・松・椿」を描き、二羽の鶴を配しています。また、交流の深かった、「頼山陽・角田九華・末弘雲華」の賛が添えられています。



↑練習の成果を発揮する選手のみなさん

久住地区が総合優勝!
市民球技大会で熱戦
8月2日、「第11回市民球技大会」が市民球場ほか、市内各会場で開催されました。8種目に全地区約850名が参加しました。真夏の暑さをものともせず、ハッスルプレーが続出。参加者はスポーツを通じて、親睦を深めました。
総合優勝には、久住地区が輝きました。主な結果は、次のとおりです。
【総合順位】1位・久住地区 58・5点、2位・豊岡地区 50・5点、玉来地区 37・5点【軟式野球】優勝・姫岳地区、久住地区【ソフトボール】優勝・豊岡地区、久住地区【バレーボール】優勝・入田地区【卓球】優勝・豊岡地区【ソフトテニス】優勝・城原地区【バドミントン】優勝・久住地区【ゲートボール】優勝・宮砥地区【グラウンドゴルフ】優勝・松本地区

新技術習得チャレンジ事業

農業の新技術取得を応援します！

市場における消費者の農業生産物に対するニーズは、日々刻々と変化しています。また、取り巻く生産状況も気候変動等により、これまでどおりの肥培管理技術だけでは困難となってきました。

そこで市では、農業技術を習得するにあたって必要な研修費等の助成を行い、前向きにチャレンジする生産者の方の支援を行っていきます。

対象となる方は、市内に居住する農業後継者や新規就農者等で、認定農業者または認定農業者等を目指す方となります。支援の内容は、3日以上30日



↑かぼすの選別作業をするみなさん

竹田特産品「露地かぼす」出荷が始まる！

8月17日、竹田市の特産品である露地かぼすの選果始動式がJAおおいた竹田事業部のかぼす選果場で行われました。

始動式では、JAおおいた豊肥エリアの廣瀬正雄常務は「露地かぼすが旬の時期を迎えました。おいしいかぼすづくりに一生懸命取り組んでまいります」と挨拶を述べました。今年は約240ト、約1億2000万円の出荷を目指しているそうです。

竹田市農政課 農業振興係
☎63-4805

●お問い合わせ

お問い合わせください。

詳しい内容につきましては、

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

お問い合わせください。

平成28年度「一般社団法人」とまと学校」農業研修生募集

竹田市内での就農を支援するために、後継者や新規就農希望者を研修生として募集します。

実際に耐候性ハウス施設（45アール）を使用し、関係機関と連携しながらトマト栽培の勉強をすることが出来ます。

研修期間 約2年間（トマト栽培期間）

研修場所 竹田市荻町

研修要件

- ・市内で就農可能な方（通勤可能な方）
- ・研修修了後、トマト部会員として就農できること
- ・概ね45歳以下の健康で農業



高齢者に届ける「トマト愛の定期便」

8月20日、市内高齢者福祉施設に新鮮なトマトを寄贈する「第36回トマト愛の定期便」出発式が行われました。

荻町恵良原・トマト選果場でJAおおいた竹田事業部の田平茂博トマト生産部会長は「高齢者のみなさんに食べてもらい、元気になってほしいです」と挨拶し、首藤市長に21箱（1箱6kg）の朝採りトマトを引き渡しました。

そして、JAや市職員、民生児童委員がトマトを車に積み込み、市内7施設に向けて出発しました。

各施設でトマトを受け取ったみなさんは「毎年楽しみ。トマトが大好きなのでとても嬉しいです」と喜んでいました。



に対する意思と意欲のある方
募集人数 4期生 若干名（選考採用）

その他 期間中は研修生1名あたり、給与として（月15万円程度）を支払う予定

募集期間 10月31日締切

面接時期 11月中旬

●お問い合わせ 竹田市農政課

☎63-4805

農業用廃プラスチック回収します

大分県農協竹田事業部と竹田市は連携して、農業用廃プラスチックの回収を次のとおり実施します。

回収場所へ運搬する場合は、「運搬車両の表示」及び「書面の備え付け（携帯）」が法律で義務づけられています。

また、回収当日は、印鑑が必要になります。

●回収する農業用廃プラスチック類 ハウスの農業用ビニール、農業用のマルチ資材、ラップサイレージ肥料袋（ビニール）、育苗用ポット、農薬のプラスチック製空容器など

●回収日程（予定）

農ビニールと農ポリに分類して持ち込んでください。

地域	場所	9月	12月	1月	3月
竹田	営生育苗センター	9/25	12/10		3/17
荻	荻堆肥センター		12/8	1/22	3/18
久住	久住野菜集出荷場		12/9		3/15
直入	直入野菜集出荷場				3/16

●回収時間 午前9時から午後3時まで
※時間内での持ち込みをお願いします

●料金 農家6円/kg（税別）、法人格（企業）7円/kg（税別）
●お問い合わせ 大分県農協竹田事業部園芸課 ☎63-1224
竹田市農政課 ☎63-4805



竹田市のこよみ

2015年(平成27年)

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
第34回公民館“見ちよくれ”祭り 日 時 9月4日(金) ※入場無料 【舞台発表等】9:30～12:30 【作品展示等】8:30～ 場 所 直入公民館ホール及びロビー 内 容 ・短歌教室・絵手紙教室ほか4団体の作品展示・県立芸術文化短期大学・コールマミー直入、なおいり保育園ほか 8団体によるオペラ・合唱・演奏等の披露 ☎直入町サークル連絡協議会(直入公民館) ☎75-2240				1 ・【歴史資料館】「竹歴コレクション展 屏風の世界」～9/27(日) ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 13:30-15:30(直入支所) ※要予約 ☎63-3346 ・県民体育大会竹田市選手団結団式 18:00～(竹田市総合社会福祉センター)	2 ・陽目の里「名水茶屋」休業日 ・【水琴館】「竹田木工クラブ5人展～竹田に伝わる伝統工芸～」～9/12(土) ・第9回竹田市農業委員会総会 10:00～(竹田市本庁3階委員会室)	3 ・竹田温泉「花水月」休館日	4 ・第34回公民館“見ちよくれ”祭り 開会式 9:15～(直入公民館) ・竹田市畜産共進会出品受付7:00～開会式8:30～(久住家畜総合センター審査場) ・【献血】 10:00-16:00(竹田市総合社会福祉センター多目的ホール) ・よりそいカフェ竹田 13:30-15:30(古町商栄会)	5					
6 ・いきいき健康フェスタ 9:30～15:00(久住公民館くじゅうサンホール)	7 ・荻の里温泉休館日	8 ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・よりそいカフェ荻 13:00-15:00(くらサボしらみず)	9 ・陽目の里「名水茶屋」休業日 ・3歳児健康診査 13:20-13:40受付(竹田市総合社会福祉センター) ※16:00終了予定 ・人権学習学級 15:00～(市本庁舎3階会議室)	10 ・竹田温泉「花水月」休館日 ・よりそいカフェ久住 13:00-15:00(くらサボりんどう) ・おはなしルーム 14:00-14:30(竹田幼稚園)	11 ・よりそいカフェ直入 13:00-15:00(くらサボゆのはな)	12 ・歩こう会【三宅方面】花水月前 8:30集合 ※1 ・第68回大分県民体育大会(県内各会場)～14日まで ・子牛市場開催日 9:30セリ開始(豊後豊肥家畜市場) TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00 城下町各会場							
13 ・サロンびお～ね 10:00-12:00(大分県豊肥保健所1階会議室) ・「WAKE PARK JAPAN TOUR VOL.1」開会式10:00～/競技開始11:00～(竹田市ウェイクケーブルパーク施設) TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00 城下町各会場	14	15 ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)	16 ・「御前湯」「名水茶屋」休業日 ・年金相談(完全予約制) 10:00-15:00(高齢者いきいき交流センター) ※3 ・大分県行政書士会無料相談会 13:00～(大分県行政書士会【大分市】) ・4・10か月児健康診査【4か月】13:15-13:30受付【10か月】13:30-13:45受付(総合社会福祉センター) ・ブックスタート 14:00～(総合社会福祉センター) ・久住地域ソフトボール大会開会式18:00～	17 ・竹田温泉「花水月」休館日 ・成牛市場開催日 9:30セリ開始(豊後豊肥家畜市場) ・こころの健康相談 13:30-15:30(荻福祉健康エリア) ※要予約 ☎63-3346 ・おはなしルーム14:00-14:30(南部幼稚園)	18 ・よりそいカフェ竹田 13:30-15:30(古町商栄会)	19 ・【水琴館】「第24回押花会・いちりん草展示会」～9/27(日) ・「法律無料相談会」 13:00-16:00(竹田市公民館竹田分館) ※予約不要 TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00 城下町各会場							
20 TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00 城下町各会場	21 敬老の日 TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00 城下町各会場	22 国民の休日 ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・よりそいカフェ荻 13:00-15:00(くらサボしらみず) TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00 城下町各会場	23 秋分の日 ・郷土の植物に親しみ植物を観察する会【秋の坊ツル湿原の観察】市役所前8:00集合(法華院温泉1泊) ※2 ・陽目の里「名水茶屋」休業日 TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00 城下町各会場	24 ・竹田温泉「花水月」休館日 ・荻の里温泉休館日 ・よりそいカフェ久住 13:00-15:00(くらサボりんどう) ・こころの健康相談 13:30-15:30(久住保健センター) ※要予約 ☎63-3346	25 ・よりそいカフェ直入 13:00-15:00(くらサボゆのはな)	26 ・「芸術文化短期大学 竹田キャンパス交流会」 16:00～(芸短大竹田キャンパス) ・県下一斉司法書士法律相談10:00-15:00(豊後大野市中央公民館) TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00 城下町各会場							
27 ・チャリティー民謡とおどりの祭典 12:00-16:00(久住公民館くじゅうサンホール) ・エフディの会 15:00～17:00(開場14:30) ※入場無料(竹田市総合社会福祉センター) TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00 城下町各会場	28	29 ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 13:30-15:30(竹田市総合社会福祉センター) ※要予約 ☎63-3346 ・感動と活力を生む学びと創造の交流拠点文化会館を考える市民フォーラム(第3回市民説明会) 18:30～(竹田市総合社会福祉センター)	30 ・【市税納期限】 固定資産税【3期】、国民健康保険税【6期】、介護保険料・後期高齢者医療保険料【3期】 ・陽目の里「名水茶屋」休業日	月間その他 ○防災週間 8/30(日)～9/5(土) ○自殺予防週間 9/10(木)～16(水) ○老人の日・老人週間 9/15(火)～21(日/月) ○秋の全国交通安全運動 9/21(月)～30(水) ○発達障害福祉月間 ○健康増進普及月間 ○障害者雇用支援月間 ○食生活改善普及運動 ○緑の募金 ～10/31(土) 									
9月行政相談委員による行政相談所の開設一覧													
地域	相談日	時 間	開 催 場 所										
竹田	9月16日(水)	10:00～12:00	竹田市社会福祉センター 相談室										
荻	9月16日(水)	10:00～12:00	荻公民館 幼児室										
久住	9月16日(水)	10:00～12:00	久住公民館 健康相談室										
直入	9月16日(水)	10:00～12:00	直入支所 小会議室										
※行政相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで「困ったら一人で悩まず行政相談!」 【竹田】阿南 茂 ☎ 67-2608 【荻】佐藤孝幸 ☎ 68-3510 【久住】本郷俊一 ☎ 76-1304 【直入】児玉龍明 ☎ 75-2426													
■ 2015年10月上旬の予定 10月3日(土)・TAKETA ART CULTURE 11:00-17:00(城下町各会場) 10月6日(土)・平成27年度 奥豊後の踊りを楽しむタベ 14:30-17:00※時間不定(岡城跡西の丸) 10月6日(火)・こころの健康相談 13:30-15:30(直入支所) ※要予約 ☎63-3346 10月10日(土)・ドイツスピーチコンテスト本選 13:30-15:00(熊本市国際交流会館) ※運動会、体育祭の日程は各学校、園舎等にお問い合わせください。													

9月行政相談委員による行政相談所の開設一覧

地域	相談日	時 間	開 催 場 所
竹田	9月16日(水)	10:00～12:00	竹田市社会福祉センター 相談室
荻	9月16日(水)	10:00～12:00	荻公民館 幼児室
久住	9月16日(水)	10:00～12:00	久住公民館 健康相談室
直入	9月16日(水)	10:00～12:00	直入支所 小会議室

※行政相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで“困ったら一人で悩まず行政相談!”

〔竹田〕阿南 茂 ☎67-2608 〔荻〕佐藤孝幸 ☎68-3510

〔久住〕本郷俊一 ☎76-1304 〔直入〕児玉龍明 ☎75-2426

■ 2015年10月上旬の予定

10月3日(土)・TAKETA ART CULTURE

11:00-17:00(城下町各会場)

10月6日(土)・平成27年度 奥豊後の踊りを楽しむタベ

14:30-17:00 ※時間不定(岡城跡西の丸)

10月6日(火)・こころの健康相談

13:30-15:30(直入支所) ※要予約 ☎63-3346

10月10日(土)・ドイツスビーチコンテスト本選

13:30-15:00(熊本市国際交流会館)

※運動会、体育祭の日程は各学校、園舎等にお問い合わせください。

〔農業委員会事務局からのお知らせ〕 ・農地に係る各種申請受付の締め切りは、毎月15日です(15日が土日の場合は直前の金曜日が締切日となります)。 ●お問い合わせ 竹田市農業委員会事務局 ☎63-4815

※1 竹田市歩こう会 ☎62-2501(山本)

※2 竹田創生館 ☎62-4100

※3 日本年金機構大分年金事務所 ☎097-552-1211

行事・イベント

●文芸界をけん引する豪華メンバーが集う「エフデーの会」トークイベント

現代文芸界の第一線で活躍する作家・歌人・俳人が集うエフデーの会。彼女らがエフデーの会メンバーでもある歌人・川野里子氏のふるさと竹田市を訪れ、吟行会を決定します。トークイベントでは、旅の中で触れた竹田市の魅力や、文芸の今について分野を越えて熱く語り合います。8名の文芸家が一堂に会する貴重なトークイベントです。是非、市民の皆様のお越しをお待ちしております。

日時 9月27日(日) 午後3時～午後5時(開場午後2時30分)

場所 竹田市総合社会福祉センター多目的ホール ※入場無料

参加メンバー 【エフデーの会】石川美南(歌人)、神野紗希(俳人)、川野里子(歌人)、小島なお(歌人)、高柳克弘(俳人)、東直子(歌人・作家)、平岡直子(歌人)、三浦しをん(作家)、※順不同

図 竹田市企画情報課エコミュージアム推進室 ☎63-4801

歴史資料館 ☎63-1923

〔開館時間〕 午前9時～午後5時

〔休館日〕 9月1日(火)、7日(月)、24日(木)、28日(月)、29日(火) ※13日(金)までは収蔵庫燻蒸作業のため臨時休館です。

〔入館料〕 一般200円、小中生100円

※共通券、団体料金についてはお問い合わせください。

●**テーマ展示『竹歴コレクション展 屏風の世界』** 南画展示室(2階)

8月5日(水)～9月27日(日)

当館コレクションより豊後南画の屏風作品を中心に展示します。田近竹邨の六曲一双屏風《春山仙輿図・秋溪採芝図》は必見です。



市民ギャラリー水琴館 ☎63-2200

〔開館時間〕 午前9時～午後5時

〔休館日〕 9月1日(火)、7日(月)、24日(木)、28日(月) ※13日(日)～18日(金)までは収蔵庫燻蒸作業のため臨時休館します。

〔入館料〕 無料

●**竹田木工クラブ5人展** 竹田に伝わる伝統工芸

9月2日(水)～12日(土) 午後3時まで

竹田木工クラブの甲斐徹治(わら細工)、甲斐寿男(木工)、倉原寿章(神楽面や獅子頭)、酒井正夫(水車や下駄)、森正行(短冊用壁掛)ら5人による作品展です。

●**第24回押花会・いちりん草展示会**

9月19日(土)～27日(日)

『押花会・いちりん草』会員による作品展です。身近にある草花を押花にし、自然の姿を額装や生活用品などに作り上げた作品を展示します。

年金

ご存知ですか？国民年金の任意加入制度

老齢基礎年金(65歳から受けられる年金)は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。

国民年金保険料の納め忘れなどにより、保険料の納付済期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して保険料を納めることにより、満額に近づけることができます。

なお、老齢基礎年金を受けるためには保険料の納付済期間や保険料の免除期間等が原則として25年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することができ(ただし、昭和40年4月1日以前に生まれた方に限られます)。

また、海外に在住する日本国籍を持つ方も、国民年金に任意加入することができます。

【大分年金事務所(お客様相談

【室】 ☎097-552-1211

消費者行政

消費生活相談窓口からの注意喚起

健康被害が出たら利用は中止

健康器具や健康食品、化粧品、エステティックサービス等の利用後に湿疹、下痢、頭痛などの症状が発生した際、事業者から「好転反応だから」などと継続することを勧められ、症状が持続・悪化したという相談があります。事業者の「好転反応」「毒素が出ている」などの説明は、利用を継続させるためのセールストークである場合もあり、鵜呑みにしてはいけません。利用する際は、体調の変化に注意し、健康被害が出たら、利用をいったん中止して、早めに医師に相談しましょう。

☎ 竹田市市民課窓口（竹田市消費生活センター） ☎63-4834
午前8時30分～午後5時（月～金 平日のみ）／大分県消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）
☎097-534-0999

試験

平成27年度 第2回危険物取扱者試験が実施されます

実施日時 11月22日(日)

午前10時～試験開始／午後2時～試験開始（大分大学）

試験種類 甲種・乙種（全類）・丙種

試験会場 県立三重総合高校

他、県内5会場。大分大学会場は（午前中）乙種4類を除くすべて（午後）乙種4類のみ

願書配付 竹田市消防本部他、県下各消防本部・消防試験研究センター・大分県支部

※消防保安室で8月19日(水)から配付しています。

願書受付

電子申請：9月21日(月)～10月5日(月) 24時間受付

書面申請：9月24日(木)～10月8日(木) 月～金曜日（午前9時～午後5時）

願書提出先 （二財）消防試験研究センター・大分県支部

※試験準備講習会等のお問い合わせにつきましては次記まで、ご連絡ください。

☎（二財）消防試験研究センター・大分県支部 ☎097-537-0427／竹田市消防本部警防課 ☎63-0119

平成27年度 後期技能検定試験が実施されます

技能検定は、働く人達の持っている技能を一定の基準により検定し、これを公証する技能の国家検定制度です。この制度は、昭和34年から実施されており、大分県では26年後期までに全職種において4万4676名が合格し、それぞれの分野で活躍しております。

試験は、毎年1回。特級、1級及び単一等級の合格者には厚生労働大臣名、2級及び3級の合格者には都道府県知事名の合格証が交付され「技能士」と称することができます。

受付期間 10月5日(月)～16日(金)まで

受付場所 大分県職業能力開発協会

☎ 大分県職業能力開発協会 ☎097-542-3651

講座

平成27年度 労働講座が開催されます

大分県では、労働問題に対する認識を深め、労使関係の安定及び向上につなげるため、労働者・使用者等を対象に労働講座（中央会場）を開催します。

今回は、I部で労働問題や労務管理に精通されている福岡県

社会保険労務士会所属の特定社会保険労務士 井原隆彰氏をお招きし、労働時間管理の実務的なポイントについて、II部では大分労働局 働き方・休み方改善コンサルタントの菅野忠幸氏

による働き方・休み方の取り組みについて、お話をお願いしております。労働者・使用者をはじめ皆様方の多数のご参加をお待ちしています。

日時 9月7日(月) 午後1時30分～

会場 九州労働金庫大分支部5F会議室

受講料 無料

☎ 大分県商工労働部労政福祉課 ☎097-506-3354

マイナンバー制度

ご登録は早めに！

10月5日から「マイナンバー制度」がスタートします。今年10月以降、住民票の住所地にあなただの「マイナンバー」をお知らせします（※住民票の住所地にご自身のマイナンバーが記載された「通知カード」が送付されます）。

やむを得ない理由により住民票の「住所地で受け取ることができない方」(※)は居住情報登録申請書を

8月24日～9月25日

(持参または必着)

に住民票のある住所地の市区町村に持参、または郵送してください。

※申請が必要な方

・DV、ストーカー行為等、児童虐待等の被害者で住所地以外の居所に移動されている方
・一人暮らしで、長期間、医療機関・施設に入院・入所されている方 等

☎ 竹田市市民課 ☎63-480

4 ほか、各支所いきいき市民課まで

募 集

第11回竹田市ひまわり号！

参加者募集

日時 10月18日(日)

出発 午前8時 午後5時30分

帰着予定

目的地 宇佐市・宇佐神宮、大分県立歴史博物館

定員 ・利用者40人 ・ボランティア50人

参加費 大人3千円 高校生以下1千円

※赤い羽根共同募金からのバス代助成支援あり

締切 9月30日(水) ※定員に達し次第締切ります

申・田 竹田市ひまわり号を走らせる会 ☎63-1464、竹田市社会福祉協議会 ☎63-1544

ヤツシロソウを守ろうプロジェクト

刈小野野焼き(輪地切り)

ボランティア募集

私達の暮らす「宮城地区刈小野」の牧野には、絶滅危惧種「ヤツシロソウ」が自生しています。昔から自然保護と育成に野焼きが行われてきましたが、ここ数年は高齢化・後継者不足で継続が難しくなっています。今年も秋の作業として「輪地切り」、「輪地焼き」、春の作業として「野焼き」のボランティアを募集します。

輪地切り(草刈り作業) 9月27日(日) 午前8時集合 午前9時～午後3時 ※少雨決行、刈払機をご持参ください。

輪地焼き(防火帯作り) 10月中旬

集合場所 刈小野コミュニティセンター

田 刈小野事務局 ☎090-9595-8419 (渡部)

(事前に申し込みください)

「山の日制定記念くじゅうの山絵画コンクール作品募集

くじゅう連山をこよなく愛した昭和の文豪・川端康成と、彼を誘った高田力蔵・白壁康の2人の画家の足跡を称え、2016年に新たに誕生する国民の祝日「山の日」に因んだ「くじゅうの山」絵画コンクールを開催いたします。

テーマは『くじゅう連山が見える風景』。くじゅう連山・久住山は九州本土最高峰、美しい山々は九州アルプスとも呼ばれ、坊がつる賛歌で親しまれるミヤマキリシマ等の高山植物の宝庫です。

くじゅう連山の魅力を、本絵画コンクールを通じて再発信し、地域とのつながり、そして育まれた誇りを呼び覚まします。

募集期間 8月11日～平成28年5月31日

応募資格 一般の部(18歳以上を対象)

作品規定 油絵(大きさ3号から20号)

審査員 工藤和男先生(一般財団法人創元会会長)ほか

表彰 最優秀賞1点(30万円)／優秀賞5点(各5万円)

会を竹田市と豊後大野市の共催で開催します。

日程 10月8日～平成28年2月4日 毎週木曜日(計16回)

午後1時30分～午後4時30分 ただし、12/24・31は休講

会場 豊後大野市緒方支所会議室

対象 地域農業の担い手(認定農業者、集落営農組織のリーダー、女性農業経営士、農業青年、新規就農者) 農業委員

内容 複式簿記の基礎講習を10回、パソコン講座を5回、その他1回

講師 大分県農業会議 農業経営指導スペシャリスト 森川詔也氏

受講料 無料

定員 10名(先着順)

期限 9月25日(金)

申込先 竹田市農政課 ☎63-4805 (担当:足達)

平成28年度 大分県立農業大

学校学生募集

次代のニーズに対応した優れた農業の担い手及び農村地域の指導者等を養成するため、学生

平成27年度 農業担い手簿記研修会受講生募集

安定した経営が行える経営体の育成を目的に、農業簿記研修

農 業

平成27年度 農業担い手簿記研修会受講生募集

安定した経営が行える経営体の育成を目的に、農業簿記研修

農 業

平成27年度 農業担い手簿記研修会受講生募集

安定した経営が行える経営体の育成を目的に、農業簿記研修

農 業

平成27年度 農業担い手簿記研修会受講生募集

安定した経営が行える経営体の育成を目的に、農業簿記研修

農 業

平成27年度 農業担い手簿記研修会受講生募集

安定した経営が行える経営体の育成を目的に、農業簿記研修

を次により募集します。

定員 農学部〔総合農産課、総合畜産課〕60名(短大2卒資格、専門士(農業課程)、大分県農業士)

試験期日

・推薦入試 10月28日(水)

・一般入試 平成28年1月13日

(水)

※推薦入学試験は、来春、県内高校卒業見込みの者に限りま

す。
※一般入学試験は、年齢制限がありません。

出願期間

・推薦入試 10月1日(水)～20日

(火)

・一般入試 12月1日(火)～12

月26日(土)

■大分県立農業大学校 教務・

学生課 ☎0974-22-175

81

相談

「不妊(不育)についての個別相談会」参加者募集

大分県不妊専門相談センターでは、専門相談員(助産師)による不妊・不育に関する個別相

談会を実施します。治療中のご夫婦やご家族、結婚準備中のカップルの方など、一組三十分程度の個別相談です。参加希望の方は事前にご予約ください。

日時 10月6日(火) 午後2時～

4時 ※個別の時間帯は、予約状況により調整します。

場所 大分県豊肥保健所

参加費 無料

■大分県豊肥保健所 地域保健課 ☎0974-22-01

62 ※平日、午前9時～午後5時受付

大分県司法書士会豊肥部主催「法律無料相談会」

日時 9月19日(土) 午後1時～

4時

場所 竹田市公民館竹田分館

※予約不要

県下二芥司法書士法律相談

(相続・会社設立等の登記、供託、訴訟等)

日時 9月26日(土) 午前10時～

午後3時

場所 豊後大野市中央公民館第2会議室

■大分県司法書士会 ☎097-53217579

後期高齢者医療広域連合

「訪問健康相談」を実施します

後期高齢者医療広域連合では、後期高齢者の方に「訪問健康相談」を行っております。

専門知識と経験をもった健康相談員(保健師・看護師・管理

栄養士のいずれか)がご自宅を訪問して、健康管理や日常生活

などについて、それぞれの方にあったアドバイスやご相談を行

うものです。対象者の方にはご案内をお届けします。ご案内後

に、訪問日時を調整するためご連絡をいたします。

対象者 後期高齢者でご案内が届いた方(対象者は県内1千名程度です)

実施時期 平成28年2月まで(予定)

■大分県後期高齢者医療広域連合 ☎097-534-117

71(代表)、竹田市保険健康課 ☎63-1111(内線179)

環境衛生

竹田市ごみの分け方辞典『中国語・韓国語・英語』版をご活用ください!

竹田市では、ごみの分別について、『ごみの分け方辞典』を作成し、市民の皆様にお知らせしています。しかし、これまで「外国語版」がなかったため、自治会でトラブルが発生したケースがありました。本市に居住する外国の皆様にもご理解いただき、自治会における生活に早

平成27年度 豊後大野市 病院企業職員 採用試験のお知らせ

豊後大野市民病院では、平成28年4月1日採用予定の職員の募集を行います。募集要領は次のとおりです。

■専門職(第2回) ◆職種、採用予定人数、受験資格【*地方公務員法第16条に該当する人は受験できません。】

職種	採用予定人数	年齢	採用予定日	免許・資格
薬剤師	2名	昭和45年4月2日以降に生まれた人	平成28年4月1日	薬剤師免許(国家試験免許)を有している人 又は平成28年3月31日までに予定されている国家試験において取得する見込みがある人
看護師	若干名	昭和41年4月2日以降に生まれた人	※採用日については、有資格者の場合、希望等確認し繰上げる可能性があります。	看護師免許(国家試験免許)を有している人 又は平成28年3月31日までに予定されている国家試験において取得する見込みがある人
社会福祉士	1名	昭和63年4月2日以降に生まれた人	平成28年4月1日	社会福祉士の資格を有し、社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)第28条に基づく登録を受けている人 又は平成28年3月31日までに社会福祉士の資格取得見込み及び登録見込みである人

◆試験日時

①試験日時:平成27年10月4日(日) ※受付:8時15分～8時30分

②試験場所:豊後大野市民病院 大会議室

③試験内容:作文試験、適性検査(筆記)、資格調査(口頭)、面接試験

★採用情報の「最新情報」はホームページをご確認ください!

■問合せ先・受験申込書の提出先

豊後大野市民病院

医事・経営課 経営係(☎0974-42-3121 内線1233)

〒879-6692 大分県豊後大野市緒方町馬場276番地

・嘱託職員随時募集中

詳細はホームページ、ハローワークにて!

◆受験手続

①受験申込受付期間 平成27年8月3日(月)～平成27年9月24日(木)必着

8時30分～17時(土、日、祝日は受付不可)

②受験申込書の配付…8月3日(月)から、豊後大野市民病院で配付します。

様式は、市民病院ホームページからもダウンロードできます。

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置替えをしませんか

現在、川や海などの汚れの大きな原因は、家庭から出る生活排水といわれています。炊事や洗濯、風呂等からの生活雑排水は、生活排水全体の有機汚濁（水質を汚濁させる汚れ分…BOD）のうち70%以上を占めるといわれています。

浄化槽には、し尿と炊事・洗濯・風呂などの生活雑排水を同時に処理できる合併処理浄化槽とし尿だけを処理する単独処理浄化槽（新規設置はできません）がありますが、合併処理浄化槽は、生活雑排水も処理するため、単独処理浄化槽に比べて1戸当たりの有機汚濁排出量が1/8に減少するとされています。

竹田市では、公共水域の環境を守り水道水源となる下流域の水質保全に向け、市町村整備型制度で合併処理浄化槽設置を進めています。この事業は竹田市が合併処理浄化槽を設置し、維持管理も行ういく仕組みになっています。合併処理浄化槽の設

置にあたっては受益者から分担金を納めて頂き、使用にあたっては維持管理のため使用料を納めていただきます。

快適な生活を送るためにも、合併処理浄化槽の設置や単独処理浄化槽からの転換を是非ご検討ください。

分担金及び使用料（専用住宅）

槽の大きさ	分担金（円）
5～7人槽	130,000
8～10人槽	140,000

槽の大きさ	使用料（月額：円）
5～7人槽	4,006
8人槽	4,212
9～10人槽	4,622

■農業集落排水処理施設（荻・久住地区）の処理区域にお住まいの方についても、地域のきれいな河川を守っていくためにもぜひ農業集落排水処理施設への加入接続をご検討ください。

☎ 竹田市環境衛生課 生活排水係 ☎ 63-4821

平成27年度 有価ごみ・資源ごみ【10月～3月期分】売却業務の入札を実施します
売却業務の種類

有価ごみ（①鉄類プレス成型品等②缶・ビン類③新聞紙・雑誌・古紙類）

資源ごみ（①ペットボトル類②廃プラ類③古布類）

業務場所 竹田市荻町馬背野89（竹田市清掃センター）

業務期間 10月1日～平成28年3月31日

詳細は竹田市公式ホームページでご確認ください。

☎ 竹田市環境衛生課 ☎ 63-4821（直通）

瀧廉太郎記念音楽祭 第70回記念プロモーションビデオ出演者募集

竹田市民の皆様を支えらえている「瀧廉太郎記念全日本高等学校音楽コンクール」は、来年平成28年に第70回を迎えます。

このコンクールをより一層身近なものとするために、そして、これから自分の夢を育む子どもたちに知ってもらうために、「プロモーションビデオ」を制作することになりました。

そこで、出演者を竹田市民の皆さまから募集します！音楽活

動をされているグループはもちろん、ご家族やお友達、地域や職場の方等、ご協力をお願いします。完成した「プロモーションビデオ」は、第70回大会までの期間中、市内の各種イベントや随時竹田ケーブルテレビで放送します。

撮影予定日 10月4日（日）午前

9時～（少雨決行）

※予備日：10月8日（木）

撮影場所 岡城跡

※詳細は、別途ご連絡します。

☎ 瀧廉太郎記念全日本高等学校音楽コンクール事務局（竹田市教育委員会 生涯学習課） ☎ 63-4817（直通）

国土交通省

ご協力をお願い

国土交通省では、自動車の利用実態を把握し、将来の交通計画を立てる目的で、今年度、全国一斉に「H27道路交通調査」（旧名称：道路交通センサス）を実施します。

無作為に選定された調査対象車両の一日の動きを把握するためのアンケート調査です。



講師 大分県人権問題講師団

人権

日時 9月9日(水) 午後3時～

会場 市本庁舎3階会議室

テーマ「部落差別の現実に学ぶ」
～恥じることも、かくす必要もない～

国 国土交通省 九州地方整備局
大分河川国道事務所 調査第二課 ☎097-544-4167

選定した調査対象車両を所有されるお宅にお願いはがきを送付し、その後、本調査票を送付させていただきますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

大石 縁さん
☎63-4817

大分地方・家庭裁判所

法の日週間(10/1～7) 行事
裁判員体験ツアー参加募集

日時 10月23日(金) 午後2時～午後3時 (開始時刻30分前から受付開始)

場所 大分地方家庭裁判所(大分市荷揚町7-15)

募集人数 24名(電話による申込先着順)

申込方法 参加をご希望の方は、大分地方・家庭裁判所事務局総務課庶務係(☎097-532-7161 内線608)までお申込みください。

福祉

豊後地区(豊後大野市・竹田市)福祉のしごと就職フェア

採用担当者から話を聞けるチャンスです。資格取得等各種相談に応じます(無料)。お気軽にお越しください。

日時 10月3日(土) 午後1時～午後3時

場所 ホテル豊洋(豊後大野市三重町赤嶺)

☎097-562-7000

就職

ハローワークからのお知らせ

障がい者就職面接会

障がい者の就職の促進を図る

ため、障がい者と事業主を対象とした面接会を開催します。

日時 9月29日(火) 午前10時～12時 午後1時30分～午後3時30分

場所 レンブラントホテル大分(旧東洋ホテル)2階 二豊の間

※参加企業は午前と午後で入れ替わります。参加をご希望される障がい者の方や事業主の方は、お問い合わせください。

☎0974-221-8609

【訂正】広報たけた8月号「TOPインタビュー」の中で、6頁12行目に市町合併時の職員数が「552名」とありましたが、正しくは「522名」でした。(竹田市総務課)

求人情報 ハローワーク豊後大野 竹田市ふるさと
ハローワーク ☎63-1101

- ①作業員3人 15.4万円 ②運転手1人 11.2万円 ③加工・配達・販売員1人 14万円 ④ショップスタッフ1人 13.4万円 ⑤調理員2人 13.2万円 ⑥クリーンクルー1人 11.9～15.6万円 ⑦保育補助1人 13.3万円 ⑧交換作業及び配達員1人 14万円 ⑨警備員10人 14.7～18.4万円 ⑩大型運転手11人 16～18.9万円 ⑪営業員1人 18～25万円 ⑫給油所スタッフ1人 14万円

〔パート求人(時給)〕

- ⑬作業員2人 700円 ⑭事務・販売員1人 700円 ⑮清掃スタッフ2人 700～750円 ⑯配膳スタッフ1人 800～1000円 ⑰収穫箱詰め作業員2人 800円 ⑱営業事務員1人 750円 ⑲携帯電話販売員1人 750円 ⑳品出し業務1人 750円 ㉑販売員1人 700円 ㉒一般事務員2人 710円 ㉓ホール厨房係2人 700～750円 ㉔ホームヘルパー2人 1200円

たけたケーブルテレビ9月番組情報 ☎竹田市ケーブルネットワークセンター ☎76-1415

7・12「竹田市防災の日」シンポジウム

～大分の防災を考える in 竹田～

7月12日に竹田市総合社会福祉センターで開催されたシンポジウムの模様をお送りします。

・特別講演「まさかにも備える～竹田の大雨・地震」

講師/気象予報士、大分県防災アドバイザー 花宮廣務さん

・パネルディスカッション「地域における防災・減災力の向上を目指して」

【放送日】9月12日、19日、26日、10月3日 土曜日 20:00～

歯科休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
9/ 6(日)	竹下歯科医院〔竹田〕	0974-62-2662
9/13(日)	歯科筑紫医院〔久住〕	0974-76-0024
9/20(日)	ふじさわ歯科医院〔竹田〕	0974-64-1118
9/21(月)	長湯ごとう歯科〔直入〕	0974-75-3001
9/22(火)	まつもと歯科クリニック〔竹田〕	0974-62-2400
9/23(水)	竹田市荻歯科診療所〔荻〕	0974-68-3263
9/27(日)	久住加藤医院 歯科診療部〔久住〕	0974-76-0008

※診療時間 9:00～12:00 (受付 11:30 まで)

※診療時間を確認のうえ、受診してください。

○大分県歯科医師会 ☎ 097-545-3151

<http://www.oita-dental-a.or.jp/>

休日及び夜間の在宅当番医院

大久保病院 ☎ 64-7777

〔受付時間〕 平日夜間 18:00～21:00、土曜日 13:00～21:00、
休日 8:30～21:00

竹田医師会病院 ☎ 63-3241

〔受付時間〕 平日 18:00～21:00、土曜日 13:00～21:00、
日曜・祝祭日 8:30～21:00

※原則として小学生以下の小児救急に関しては、小児科輪番病院を受診してください。

※なお、これまでどおり上記以外の曜日や時間帯についても電話相談していただいて、診察可能と判断できれば可能な限り対応いたします。

- 注意事項**
- ・かかりつけの病院がある場合は、できるだけそこで診てもらおうをお願いします。
 - ・事前に症状、年齢、その他必要事項を病院へ電話連絡したうえで受診をしてください。
 - ・症状が重い場合は救急車を呼んでください。

小児科外来休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
9/ 5(土)	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
9/ 6(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
9/12(土)	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
9/13(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
9/19(土)	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
9/20(日)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
9/21(月)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
9/22(火)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
9/23(水)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
9/26(土)	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
9/27(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
10/3(土)	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
10/4(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121

受付時間 8:30～11:30(こども診療所は 9:00～11:30)

診療時間 9:00～12:00(三重東クリニックは 8:30～12:00)

※土曜日については、上記以外にも診療を行っているところがあります。

受診時の注意 当番院は、やむを得ず変更になる場合があります。あらかじめ当番院または竹田市消防署(☎ 63-0119)にお電話で確認されるようお願いいたします。また、院外薬局が休みの場合は、あらかじめ用意されて約束処方となることがありますので、ご了承ください。

水ぼうそう、おたふく
風邪の抗体検査

竹田では、全国に先駆け、
2006年より任意予防接種の
水ぼうそう(水痘)、おたふく
風邪(ムンプス)ワクチンを1
回、市の公費助成にて無料にし
ました。約80%の子どもが接種
し、その結果、水痘、ムンプス
は減りました。

それだけでなく、子どもの医
療費と、看病にあたる保護者の
減収までも抑制され、予防接種
料にかかる費用を差し引いて
も、市としての経済効果も上が
りました。子どもを守るために
は、小児科を増やすこと、いつ

でも受診できる体制を作ること
と思われていた方々も少なくあ
りませんでした。最も有効な
のは予防であることを実証する
ことができました。

竹田のこの成果は、日本小児
科学会雑誌や日本小児保健協
会雑誌を通じて、全国の小児科
医に広く紹介されています。

そんな中で、国は2014年
10月より水痘ワクチンの2回
接種を定期接種としました。ま
た、ムンプスワクチンは任意接
種のままで、竹田では1回の公
費助成を継続していますが、日
本小児科学会は2回接種を推
奨しています。

そこで、今年度、竹田市は、
大分大学小児科との共同事業
にて、子どもの水痘、ムンプス
ワクチンの抗体価を無料で測定
し、市の取り組みの成果を確認
しています。抗体価の測定には
3cc程度の血液が必要ですが、
例えば他の目的での採血や点滴
のついでに検査することも可能
です。

詳しくは、竹田市役所保健健
康課(☎ 0974-631481
0)にご相談ください。
(大分大学医学部地域医療・小
児科分野 是松聖悟)

第14回

出張！

えがおの子育て
小児科

—— 地域医療・小児医療の視点から ——

竹田市職員採用試験のご案内

竹田市では、次のとおり平成 28 年度に採用する職員の募集を行います。

【試験職種・職務内容等】

試験職種		採用予定者数	受験できる年齢要件と職務内容等
事務職 (身体障がい者を含む)		若干名	○昭和 53 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までに生まれた人 ○高等学校卒業程度の学力を有する人 ○市の一般行政事務に従事します。
消防職	消防士	若干名	○昭和 63 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までに生まれた人 ○高等学校卒業程度の学力を有する人 ○消防署等において、警防、救急等消防業務全般に従事します。
	救急救命士		○昭和 63 年 4 月 2 日以降に生まれた人 ○高等学校卒業程度の学力を有する人 ○救急救命士の免許を有する人 ○消防署等において、警防、救急等消防業務全般に従事します。

○受験資格等は、竹田市職員採用試験案内で必ず確認してください。

受験案内・申込書等は、次の方法で入手できます。

1. 全職種とも、竹田市役所総務課（本庁舎 2 階）及び荻・久住・直入支所のいきいき市民課に用意しています。また、消防職については、消防本部庶務課にも用意しています。
2. 郵便で請求する場合は、封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書きし、120 円切手を貼った返信用の封筒（A 4 サイズ“角形 2 号”）に宛先、名前をはっきり記入同封の上、問い合わせ先（市総務課職員係）へ請求してください。
3. 受験案内は、竹田市の公式ホームページ（<http://www.city.taketa.oita.jp/>）にも掲載しています。試験案内及び申込書等を印刷して利用できます。

【試験の日時及び試験会場】

○第 1 次試験 平成 27 年 10 月 18 日(日) 竹田市役所本庁舎 3 階会議室

【申込受付期間等】（全職種）

○受付期間 平成 27 年 9 月 8 日(火)まで（土曜日、日曜日、祝日を除く）

○受付時間 8 時 30 分～ 17 時まで

○受付場所 〒 878-8555 竹田市大字会々 1650 番地 竹田市総務課 職員係（竹田市役所本庁舎 2 階）

※郵送による申込書は、9 月 8 日(火)までの消印があるものに限り受け付けます。

●お問い合わせ 竹田市総務課 職員係 ☎ 0974-63-1111（内線 216・217）



「第 11 回人権を守る市民の集い」開催
差別と戦争をなくすために

8 月 7 日、「第 11 回人権を守る市民の集い」がくじゅうサンホールで開催されました。

劇団俳優座所属、舞台女優の有馬理恵さんが自身の半生を振り返りながら、またライフワークとする主演作品「釈迦内転回」（水上勉作）で全国各地での公演のエピソードを交えながら、偏見や差別撲滅を訴えました。

人種差別・戦争問題を「正しく理解することの大切さ」を考える貴重な機会となりました。



さらに、高齢化社会は危機だとか、年金がパンクするなどの形で長生きすることが「罪」であるかのような議論が横行しているようにも思われます。

このように中、認知症や身体が不自由な高齢者は、私たちが自身の問題なのです。すべての人が豊かな高齢期を送れるよう、地域社会全体で高齢者と共生する意識を持ち、一人ひとりができることから始めましょう。

竹田市教育委員会 生涯学習課
☎ 63-1111（内線 343）

また、高齢者への虐待、財産をだまし取る詐欺等高齢者の尊厳を否定する事件や、一人暮らし高齢者の孤独死など深刻な社会問題として報道で取り上げられており、こうした社会情勢から、高齢者の人権を守るために十分な注意を払う必要があります。

本来、「寿命」や「長寿」という言葉に象徴されるように、人が「生命をながらえる」こと、「長命を保つ」ことは基本的に「喜ぶべきこと」「幸せなこと」です。

私たちはみんな年をとります。そして、それに伴う身体的・精神的衰えは避けられません。しかし、いつまでも自分らしく生きたいという気持ちは誰もが持っています。高齢者の人権問題は、私たち自身の問題なのです。

いつまでも自分らしく



「ナンバーワンよんこーんこーん」全員で「流をぬかす」

今月の学び舎 竹田支援学校



↑1学期終業式での「マイチャレンジ」表彰式



↑「校外作業学習」 スーパーマーケットでの惣菜づくり

竹田支援学校は、昭和37年4月、竹田小学校に特殊学級が設置されたことにはじまり、昭和40年4月、竹田市豊岡小学校内に竹田市立竹田養護学校が開校されて、今年で創立50周年を迎えます。

小学部13名、中学部10名、高等部16名の児童生徒が、地元竹田市はもちろん、豊後大野市からも元気に通学しています。

今年は、「ナンバーワンよりオンリーワン!全員で一流をめざそう!」のスローガンのもと、自分の得意なことを見つけ、しっかりと伸ばしていこうと、児

童生徒本人と家族、学校職員が一緒に目標を設定・共有して取り組む『マイチャレンジ検定』に挑戦しています。

『チャレンジ自分からあいさつ』『チャレンジきちんと身だしなみ』『チャレンジ漢字検定』など、それぞれチャレンジは違いますが、一人ずつ認定証をもらい、全校集会で披露して、お互いのチャレンジを認め合います。この取組を積み重ねること

によって、キャリア教育の基本となる「自己肯定感」が高まり、児童生徒が自ら夢を抱き、実現できるようになればと願って

います。

また、5月より、竹田市内の企業様のご協力をいただき、『校外作業学習』を開始しました。

高等部2・3年生の一般就労を希望する生徒を対象にし、週一回、徒歩またはバスを利用して事業所に赴き、午前中いっぱい作業をさせていただき取り組み

です。学校での作業学習では汎化しにくい課題(コミュニケーションや協同作業など)にスポーツを当て、勤労観や職業観の向上を図ることをねらいとしています。あわせて、地域の企業様に対して、特別支援学校を知って

いただき、生徒の障がい特性などの理解を深めていただけたらと考えています。

50年の節目にあたり、地域のみなさまには、惜しみないご支援・ご協力をいただきましたことを感謝申し上げますとともに、児童生徒の「学びたい」、「働きたい」という夢や希望を叶えることができますよう、これからも教育活動に取り組んでまいります。

(平野 和広)

きんぎょ博物館

119

工藤久泉(もとひら)氏は、昭和35年の「二豊の文化」という冊子で「郷土久住の生んだ只一人の作家「安藤盛」と、彼の23回忌の追悼文の中で紹介している。

久泉氏は久住小学校時代の師であり、また県立農学校時代の師でもあった。

安藤盛は、明治26年(1893)に直入郡白丹村に父常太郎、母クラの二男として誕生。姉2人、兄茂、弟登等11人兄弟の4番目で元気がよくて親を困らせることが多かった。

明治41年(1908)久住高等小学校を卒業。亀川にあった県立農学校の水産科に入学。(なぜか久住小学校の卒業生名簿に名前が欠落している。後に開校90周年記念誌で復活)

彼が水産科を志したのは当時読み聞かされた「捕鯨船」の話に興味を持ち、捕鯨船に乗り組みたいという夢からであったが、成績が芳しくなくて結局卒業せずに樺太に飛んで行った。

それから満州、台湾、南の島々等を転々としながら紀行文や「海賊王の懐に入る」という膨大な実話小説を書いて文壇に名を成した。



↑安藤 盛氏

安藤 盛 南洋通の放浪の作家

二十余年の放浪生活の中で兄と弟の葬儀のために帰郷しているが、大正14年に父が死去して家督を相続し、昭和4年(1929)に36歳で本籍を東京に移している。

大正末から昭和の初期にかけて、「祖国を招く人々」「南十字星に祈る」「南洋と裸人群」等々の小説を書き、当時は久米正雄や菊池寛、村松梢風などの作家とならびたえられた。

恩師久泉氏との手紙のやり取りは続き、多くの書信が残されている。昭和8年に発行された与謝野夫妻の歌集「久住山の歌」を読んだ感想文を豊州新報に連載している。

昭和7年から12年にかけて5回の南洋旅行に出かけており「南洋記」「未開地」等々の多くの紀行文・小説を残している。昭和11年9月11日から3日間、25年ぶりに久住に帰り旧知の町民の方々から歓迎されている。

最後の南洋旅行から帰国後、体調を崩し昭和13年(1938)6月、数え年46歳で病魔に斃れた。

「この有為な人材を失ったことは、私情は元より日本のために惜しみても尚余りあることである」と久泉氏は彼を悼んでいる。

(河野 豊)

参照
・青木澄夫著「放浪の作家 安藤盛」と「からゆきさん」他
・工藤元平氏資料

新刊のご案内

一般の本

「菜飯屋春秋」

魚住 陽子 駒草出版

小さな料理屋「菜飯屋」・夏子の物語。菜飯屋で提供される食べ物に春秋があるようにここにも生命にも春秋が巡る。菜飯屋の春秋には、人との出会いや緑を育むたましいの処方箋（レシピ）が含まれている……。季節の料理に心が癒されるしみじみとした一冊です。

司書おすすめの1冊

子どもの本

「ニワシドリのひみつ」

鈴木 まもる文・絵 岩崎書店

庭師鳥は芸術家。鳥の巣研究家の鈴木まもるさんがニューギニア・オーストラリアを現地取材し、不思議なオブジェをつくる庭師鳥のひみつを探り研究した一冊。

オスが、巣とは違う美しい造形物を作るユニークな習性から「ニワシドリ（庭師鳥）」と名づけられた鳥。

産経児童出版文化省 JR 賞を受賞した美しい一冊をどうぞ！



【一般の本】

- ・日付変更線 上・下巻（集英社） 辻 仁成
- ・スクラップ・アンド・ビルド（文藝春秋） 羽田 圭介
- ・トンネルの森（KADOKAWA） 角野 栄子
- ・ベトナムの桜（毎日新聞出版） 平岩 弓枝
- ・なりたい（「しゃばけ」シリーズ14）（新潮社） 畠中 恵
- ・第二楽章 ヒロシマの風長崎から（スタジオジブリ） 吉永小百合
- ・わたしの畑の小さな世界「奇跡のリンゴ園」の宝もの（エクスプレス） 木村 秋則
- ・サリンジャーに、マティーニを教わった（潮出版社） 金原 瑞人

- ・地域からつくる内発的発展論と東北学（藤原書店）

赤坂 憲雄・鶴見 和子

- ・私の「戦後 70 年談話」（岩波書店） 新崎 盛暉

【子どもの本】

- ・ぼくらの魔女戦記 1 黒ミサ城へ（ポプラ社） 宗田 理
 - ・藤井兄妹の絶体絶命な毎日（講談社） 小林 美雪
 - ・世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ（汐文社）
 - ・バケモノの子（角川つばさ文庫）（KADOKAWA） 細田 守
 - ・ぼくのジィちゃん（佼成出版社） くすのきしげのり
 - ・こびと大図鑑（チャイルド本社） なばたとしたか
 - ・ぞくぞく村のランプの精ジンジン（あかね書房） 末吉 暁子
- 他 80 冊ほど入りました

図書館に行こう

<http://www.city.taketa.oita.jp/library/>

9 月



ハテナはかせのへんてこいきものずかん原画展

9月12日(土)～10月3日(土)までの期間中、土・日・祝日に竹田アートカルチャー「ザ・キャビンカンパニー 暮らしの疑問×図書館」と題して竹田市立図書館 2 階閉架書庫で絵本原画展を開催します。

今、人気急上昇中、ザ・キャビンカンパニーの楽しくてワクワクする素晴らしい世界へぜひお出かけください!!

今日の読み聞かせ

○ブックスタート

9月16日(水) 14:00～(竹田市総合社会福祉センター)

○おはなしのへや

毎週火曜日 10:30～11:00
(竹田市立図書館えほんのへや)

○おはなしルーム

9月10日(木) 14:00～14:30(竹田幼稚園)
9月17日(木) 14:00～14:30(南部幼稚園)



今月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 お(な)
6 お(な)	7 お	8	9	10	11	12 お(な)
13 お(な)	14 お	15	16	17	18	19 お(な)
20 お(な)	21 お(な)	22 お(な)	23 お(な)	24	25	26 お(な)
27 お(な)	28 お	29	30			

(アミ)が竹田市立図書館の休館日
⑤＝荻図書室 ⑥＝久住図書室
⑦＝直入図書室

■竹田市立図書館

TEL・FAX63-1048

■荻図書室(荻駅交流館図書室)

TEL・FAX68-2200

■久住図書室

TEL76-0717・FAX76-0724

■直入図書室

TEL75-2240・FAX75-2231

有由縁

文豪川端康成が晩年、よく揮毫したのが『有由縁』。
人との出会いや物事との接点が生まれるのは、偶然ではなく、それなりの理由が働くからであるという意味。

市長コラム
〈第73回〉



↑宮城台小学校の児童のみなさん（ふるさとを考える訪問授業）

人を育てることこそ、未来への財産づくり 竹田市民は、まちの再生に命がけで臨んでいるか

管内の小中学校を訪問して、私がほぼ1時間の授業を担当するという、『ふるさと竹田を考える訪問事業』を始めて1年以上が経過した。管内には小学校が12校、中学校が6校あるが、これまで12校を訪問した。あと6校で一巡する。中学校は2年生が対象、小学校は原則5年生なのだが、複式学級を交えて3学年合同でおこなったりする。先日の宮城台小学校がそうであつた。

最近、小規模校を存続させるか統廃合させるかなどの議論が熱を帯びているが、その良さや現場の創意工夫のことは、保護者や教員そして地域の人たちの声をしっかり聞くことが大切だと思っている。第三者的発想で強引に自分の考え方を押し付けるといふのは、いささか乱暴であろう。そして、やはり教壇に立つてみるのが一番だ。子どもたちの目の輝きや仲睦まじい様子は現場でしかわからない。

*
余談だが、先日私は教育委員会部局とともに、四国の久万高原町を訪れた。このまちの人口は9,150人、小学校は9校で、中学校は2校。小学校は1校を除いた8校が全校児童20人ほどの極小規模校なのだが、学校の統廃合という考え方は過去一度も俚上にあがったことはないという。それどころか、仕七川小学校にあつては、つい最近、全校児童が10人しかないのに約2億円を投じて校舎を新築しているのだ。その背景を地域のリーダーであり、いまは町議会の議長を務める高橋末廣さんにお伺いす

ることができた。

「感情的に学校を残したいという気持ちがないわけではないけれど、それだけではだめだと思ふんです。私たちは、学校での教育とともに地域で子どもたちを育ててこそ、ふるさとに貢献できる人材が生まれと思うています。肝心なのは数で判断するのではなく、このふるさとの将来を守ってくれる人間を育てることができるのかということです。二人でも三人でもいい。ここで生きる、ここに帰ってきてふるさとを守るんだという気持ちになつてくれる人材をつくる。それが私たちの使命だとみんなが思っていますし、だから行政もその熱意を理解して、新しい学校をつくってくれたんです」と教えてくれた。地域から学校がなくなるとは、地域の誇りがなくなるにふさわしいという言葉も忘れられない。

*
さて。私の学校訪問のことに話を戻そう。この授業には、子どもたちだけでなく、校長先生も担任の先生も、そして参加できる教員の皆さん方もおられるから、私としてはとても興味深い反応調査の現場でもあるのだ。

ところで、この授業では子どもたちからの質問に私が答えるというスタイルを採用しているのだけれど、それだけではおもしろくないから、私からも色々な質問を投げかけたりする。臨機応変にである。たとえば、「みんなの目の前にそびえる山の名前は？高さは？」、「買い物はどこに行くの？」、「いま一番ほしいものは何？」

などと問うてみるのだ。すると、とても参考になる回答が寄せられる。買い物場所は、坪田原の大型店が最も多く、ついでわさだショッピングセンター。ほとんどの学校でそうであるということは、消費者である保護者の行動がよくわかる。一番ほしいものでは、「コンビニと公園」となるのだ。気になるのは、私たちの時代で一番人気であつたはずの城下町にはほとんどの子どもたちが寄り付いていないということである。子どもたちが行かないのではなくて、消費者である保護者の足が向いていないということだ。

*
竹田市に限った課題でもなからうが、こういう現実を目の当たりにして、だからこそ、いま竹田市に住む私たちはどんなまちづくりが必要なのかをしっかりと考えていかなければならないと思うのである。

城下町では電線の中地化の計画などを議論いただいている。5億円もかかる事業で財源も気になるところだが、さらに気になるのは、「地域の理解をいただいて」という職員の言葉にある。たしかにまちづくりは市民が主体でなければならぬが、しかし、その市民が再生に命がけで臨んでいるのかということを見極めなければならぬはずだ。地域が未来に可能性をかけて、夢を持てる事業だから是非実行してほしいという意欲なくしては子どもたちにとっては負の遺産になりかねない。文化会館にして、しかりである。

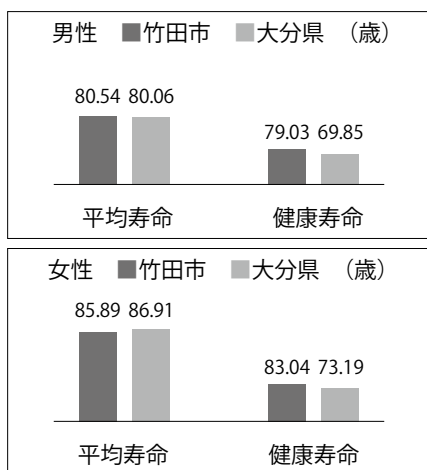
久万高原町のような地域愛と、人を育てることこそ未来への財産づくりだとする崇高な理念がいま竹田市に求められている。

働き盛りの健康を支える

健康寿命を伸ばせ

「健康長寿日本一」をめざす

大分県の平均寿命は、男性が全国8位、女性が全国9位と全国トップ10の仲間入りを果たしました。しかし、日常生活に制限のない期間、いわゆる『健康寿命』は、男性全国39位、女性34位と全国平均を下回っています。この平均寿命と健康寿命の差を縮小させるため、大分県の新長期総合計画において、『健康寿命日本一の実現』を目標に掲げています。



「働き盛りの世代が鍵！」

健康寿命を伸ばしていくためには、介護予防だけでなく、『働き盛りの人々』

の健康がとても重要になります。多くの働き盛りの世代の人々は、仕事や家庭が主となることから、生活習慣が乱れがちです。

また、健康診断や病院受診、健康づくりする時間がとれず、生活習慣病の発症に気づかなかつたり、重症化してしまつたりする場合があります。

社会保険（全国健康保険協会）加入者の医療費を見ると全国でもトップクラスの高い金額になっており、中でも竹田市は大分県で最も高くなっています。（平成25年度）その背景には、入院をする人が多く、高血圧や糖尿病だけでなく、腎不全による医療費が高額になるなど、働き盛りのうちから病気が重症化している様子がみられます。そのため、働き盛り世代の疾病の予防をするには、日中の多くの生活の場となる事業所での健康管理および健康づくりが重要です。

「従業員の健康は事業所の利益に

高血圧や糖尿病といった生活習慣病の悪化により、心筋梗塞や脳梗塞など

を発症すると治療に時間がかかり、通常の勤務が難しくなります。中小企業では1名でも発症するとその影響度は大きくなります。

従業員が心身共に健康に勤めてもらうことは、事業所の生産性の向上、事故防止、作業の効率化につながります。従業員の健康支援を通じて会社の益を生むといった考え方を『健康経営』といいます。

大分県では、働き盛りの世代の健康づくりを支えることを目的に、日中の多くの時間を過ごす事業所での健康づくりを推進するため、『健康経営事業所』の認定および認定に至るまでの支援を実施しています。平成26年度では、認定のために県に登録している367事業所のうち、42事業所が『健康経営事業所』に認定されました。

生涯を通じて健康であるには、働き盛りの世代のうちから病気を予防しましょう。そのためには、多くの事業所が健康経営に取り組んでいただきたいです。県の事業は無料ですので、多くの事業所様のご参加をお待ちしています！

●お問い合わせ 大分県豊肥保健所地域保健課 ☎0974-22-0162

●10月は「みんなで伸ばそう健康寿命」推進月間です

市内の健康経営事業所が知事顕彰を受賞

8月17日、健康経営の考え方や取り組みが県内においても特に優秀なことから、「九州ジーシー株式会社（竹田工場）」に、「知事顕彰」（県内5事業所）が授与されました。

「九州ジーシー」は、全従業員の健康診断はもちろん、受診後のフォローが行える勤務体制を実施しています。また、事業所内で健康講座を開催、運動大会の企画、始業前の筋力アップ体操など、様々な健康づくりも実践しています。

さらに、管理者の口癖は「従業員は会社の宝！」「従業員の健康無くしては、事業所は成り立たない！」。まさに、健康経営の考え方です。受賞おめでとうございます。



↑知事顕彰を受賞した「九州ジーシー株式会社」のみなさん



郷土の植物

(317)

阿孫 久見

第126回

スズサイコ (ガガイモ科)

やや標高の高い日当たりのいい乾いた草原に生育する高さ1メートルほどの多年草です。茎は普通枝分かれせず、細く硬く1本立ちです。

対生の葉は先のとがる線状長楕円形で下部の大きいもので長さ15センチ、幅が1センチほどです。葉は下部ほど大きく、上部ほど小さいです。

夏の頃、茎の先端部の葉腋から花柄を出して、径2センチほどの厚ぼったい淡黄緑色が黄褐色の星形の5弁花を咲かせます。花弁の内側に淡白緑色の5個の副花冠（花弁の中に

できる花弁状の付属物）があり目立ちます。果実は細長い紡錘状の袋でユニークです。

和名の由来は、つぼみの形が鈴に、全体がミシマサイコの花に似ているので鈴紫胡の名があります。

竹田では久住高原のごく限られた場所に個体は少ないですが稀に観察されます。大分県の絶滅危惧種。花期は7月から8月です。



ビックリ「白ゆり」を発見！

7月下旬、豊岡地区の田んぼの土手に、たくさんのお花をつけた「白百合」が2本見つかりました。そのうちの1本は、つきすぎたお花の重さに耐えられず、茎から折れ倒れていました。（約60輪もあったそうです）

「百合がこんなに花をつけたのを見たのは初めて。竹田の百合は美しいですね」

本田百合子さん（名前も「百合」です）と、本田喜美江さんは、お花の観賞を楽しんでいました。〔写真右から〕